施策評価シート（ 令和2　年度の振り返り、総括）

作成日	令和3 年　04月　15日

施策 No.	3	施策名	国際化に対応した教育
主管課名	学校教育課	電話番号	0285-81-9052
関係課名	学校教育課、生涯学習課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市内の義務教育課程の児童生徒						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
児童生徒数	人	6,638					

施策の目標	社会環境が大きく変化しグローバル化が一層進展する中で、国際的な視野を持ち、豊かな語学力やコミュニケーション能力を身につけた児童生徒を育成します。 また、国籍や文化の違いに関わらず、互いに支え合い共に生きていく力を育みます。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・真岡市総合学力調査（英語）の平均正答率における全国比との差を使用する。 ・全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた児童の割合を使用する。 ・とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた生徒の割合を使用する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
中学2年生の真岡市総合学力調査（英語）の平均正答率における全国比との差	目標値	ポイント	-2.3	-1.3	-0.3	0.7	1.7	2.5	+2.5
	実績値			実施無					
全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた小学6年生の割合	目標値	%	ー（項目なし）	64.0	68.0	72.0	76.0	80	80%
	実績値			実施無					
とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた中学2年生の割合	目標値	%	59.5	63.6	67.7	71.8	75.9	80	80%
	実績値			実施無					
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	市民は、国際的な視野を育成し、相互理解を深めるため、異文化交流の場等に積極的に参加する。 行政は、国際交流や英語教育の充実に向けた環境整備や指導者の人材確保に努める。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action)

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、真岡市総合学力調査およびとちぎっ子学習状況調査が実施されなかったため、実績値を把握することができなかった。

参考として、令和元年度実績値は以下のとおり
・中学2年生の真岡市総合学力調査（英語）の平均正答率における全国比との差：+1.8%
・全国学力・学習状況調査「英語が好き」と答えた小学6年生の割合：該当する質問項目なし（※R3年度～項目あり）
・とちぎっ子学習状況調査「英語が好き」と答えた中学2年生の割合：65.4%
であり、令和元年度の時点で英語に関する学力が大きく向上しており、「英語が好き」と答えた生徒の割合も増加していることがわかる。

令和2年度からの新学習指導要領全面実施により、小学校５，６年生の外国語活動が教科化となった。それに伴い、令和3年度の全国学力・学習状況調査から児童の英語に対する意識調査の項目が追加されているため、来年度の調査結果から小学校英語教育に関する取組の成果を検証する必要がある。

令和2年度の国際理解教育・英語教育に関する取組状況は以下のとおり。

・外国語活動支援員(JTE)および英語指導助手（AET）、英語指導力向上専門員を活用し、英語教育の充実を図った。
・外国人児童生徒拠点校に設置されている日本語学級において日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対し、2人の日本語指導助手（ポルトガル語・スペイン語通訳）を配置した。
・英語検定料・漢字検定料の助成により、英語能力および日本語能力の育成を図った（英語検定料助成対象者：192名、漢字検定料助成対象者：32名）。
・教育国際交流については、中学校6校で姉妹校を締結済。令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航および受け入れはいずれも中止とした。
・小学校5～6年生を対象に例年実施しているイングリッシュ・サマーキャンプについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
・高校生の海外留学支援については、令和2年度の応募はなかった(令和元年度は9名)。

新型コロナウイルス感染症の影響により姉妹校交流が行えない状況にあり、感染症収束が見通せない状況にあることから、これまで各校が姉妹校と築いてきた関係性の維持向上を図る方策を検討する必要がある。
また、イングリッシュ・サマーキャンプについても新型コロナウイルス感染防止のため事業を中止していることから、感染対策を十分にとった上で事業が実施できないか検討する。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

外国語活動支援員(JTE)および英語指導助手（AET）、英語指導力向上専門員の効果的な活用により英語教育を充実させ、引き続き英語力ならびにコミュニケーションの能力の向上を図る。
令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたイングリッシュ・サマーキャンプについて、令和3年度は感染拡大防止対策を十分にとり開催する。同じく令和2年度中止となった教育国際交流についても、各学校に配備した電子黒板やタブレット等のICT機器を活用し、オンライン等による交流を実施することで国際理解教育を推進する。また、長沼中学校、久下田中学校、物部中学校の姉妹校締結に向けた取組を支援する。高校生の海外留学支援についても、引き続き継続する。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和2 年度実績	今後の方向性
1	総重	イングリッシュ・サマー・キャンプ事業	学校教育課教育政策係	コミュニケーション力が高まった児童の割合	%	0	現状維持
2	総重	英語・漢字検定助成事業	学校教育課教育政策係	英語および日本語能力が高まった児童生徒の割合	%	100%	現状維持
3	総重	英語指導力向上専門員配置事業	学校教育課教育政策係	英語指導力が向上した教員の割合	%	100%	現状維持
4	総重	英語指導助手（AET・JTE)配置事業	学校教育課教育政策係	英語の学習効果が高まった児童生徒の割合	%	100	現状維持
5	総重	教育交流訪問団の受入・派遣事業	学校教育課教育政策係	国際理解が深まった生徒数	人	0	現状維持
6		日本語指導助手派遣事業	学校教育課教育政策係	日本語指導を必要とする外国人児童生徒数	人	146	現状維持
				派遣時数	時間	1,947	現状維持